

モジュール学習で 基礎学力をつける

名和小学校 朝の取り組み



読む力をつける、朝の一斉音読

国語科の内容では音読・暗唱を中心に声を張って読むことを大事にしています。詩・名文・古典・短歌・ことわざ・慣用句などをみんなで声を合わせて読むことで、語感や語彙を自然と吸収するよう

間、月・水・金曜日は読書を行い、火・木曜日にはモジュール学習をしています。モジュール学習（8時20分から35分）では、国語科の内容と算数科の内容で構成しています。

新学習指導要領には基礎的・基本的事項を徹底して習得させ、学習の基盤を構築していくことが大切であると提言されています。

本校では、朝の15分



短時間で集中して計算問題に取り組む

になりました。なによりも全校で取り組むことで校舎に響き渡る子どもたちの声は、朝の清涼感を運んでいます。

算数科の内容では、ドットカード・フラッシュ教材・10ます計算・100問計算などを通して、短時間に集中的に計算する能力と数感覚を磨いています。また、音声計算といってペア学習で計算力を確かにする取り組みも取り入れています。集中したときの緊迫感と答えあわせでの「はい」という呼応がリズムとテンポを醸し出しています。

園児が田植え体験

逢坂保育所

体中どろんこになってみんなが田植えをしたのは、梅雨前のさわやかな6月でした。

逢坂保育所では、昨年からの地域のおじいさんたちが、子どもたちのために土や苗を準備して田作りから田植え、収穫までの米作りを体験させてくださり、最後はみんなでクッキングを楽しんでいます。

今年も園庭で、大小11個の容器に子どもたちと一緒に土や水を入れ、手や足でこねてまずは田作り。頭から足までどろんこになって大喜びでした。そし



て苗を分けてもらい、おじいさんたちに教わりながら小さな手でみんなが一つひとつ真剣に植えていきました。今では大きくなって苗を分けてもらい、おじいさんたちに教わりながら小さな手でみんなが一つひとつ真剣に植えていきました。今では大きくなって苗を分けてもらい、おじいさんたちに教わりながら小さな手でみんなが一つひとつ真剣に植えていきました。

子どもたちは、園庭で遊んでいる時に苗の様子を見たり、登降所時におうちの人と一緒に自分たちの植えた苗の成長を見守っています。